

## 「もっと社会貢献を楽しく。」

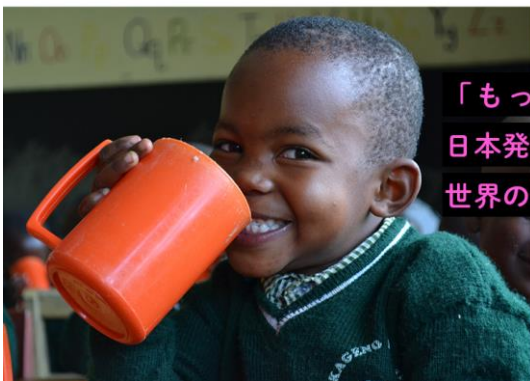
# 日本発のユニークなアイデアで世界の食の不均衡を解消

大学生や主婦、企業の従業員もインフルエンサーに

当法人は、4 月 1 日を夢を発信する日にしようとする April Dream に賛同しています。このプレスリリースは「特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International」の夢です。

特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International(以下、TFT)は、日本発のユニークなアイデアで世界の食料問題の解決に向けて取り組んでいます。“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私達と開発途上国の子もたちが食事を分かち合うというコンセプトの下、「健康的な食生活や運動習慣を推進しながら、開発途上国へ給食を支援する活動」を多数展開しています。TFT が 2007 年の創設以来取り組んできた飢餓と飽食は、世界共通の大きな課題であり、解決のためには更なる大きなうねりが必要です。国連機関や NPO のみならず、この課題解消に取り組むプレーヤー総数を増やし、社会全体で連携して解決していく仕組みを今後も提唱してまいります。  
(<https://jp.tablefor2.org/>)

### TABLE FOR TWO



「もっと社会貢献を楽しく。」  
日本発のユニークなアイデアで  
世界の食の不均衡を解消します。

4月1日は  
**April Dream**

現在、世界の約 75 億人のうち、約 8 億人が飢餓や栄養不良の問題に苦しむ一方で、20 億人近くが肥満など食に起因する生活習慣病をかかえています。

TFT ではこの世界規模で起きている食の不均衡を解消すべく、社員食堂や店舗で TFT ヘルシーメニューを購入すると、代金の内 20 円が寄付に充てられ、飢えに苦しむ世界の

子どもに給食 1 食分をプレゼントできるプログラムを軸に活動しています。企業や官公庁、大学、病院など約 700 団体が参加し、東アフリカと東南アジアの 5 カ国(ケニア、タンザニア、ルワンダ、ウガンダ、フィリピン)を中心に、学校給食の提供、そして菜園・生産性向上プログラムの支援を実施。累計支援給食数は 8,500 万食にのぼります。

2007 年の創設以来、飢餓人口は少しずつ減少していましたが、気候変動や紛争などを要因に 2016 年頃から少しずつ増加に転じていたところ、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けてさらに悪化し、国連が掲げる 2030 年までの SDGs 達成が危ぶまれている状況です。アフリカでは、人口の 21%が栄養不良であり、これは他の地域の 2 倍以上となっています。一方で、日本をはじめとする先進国では、外出自粛や在宅勤務の増加に伴い、栄養過多や運動不足が問題となっており、生活習慣病予備軍の人口増加が懸念されています。TFT は生活習慣の変化に伴う健康維持に関する課題の把握に努め、解消につながる取り組みを続け、開発途上国と先進国双方の人々の健康を同時に改善することを目指しています。

■世界経済フォーラムで日本人によって生まれたアイデア、始まりは間借りしたオフィスから。

TFT のアイデアは、2007 年に世界経済フォーラム(ダボス会議)の地球規模課題についての分科会に参加した日本人メンバーが、飢餓と飽食に関するテーマがそれぞれ別の問題として議論されていたことを受け、2 つの問題を同時に解消できないかと着眼し生まれました。創業当初は他団体のオフィスの隅に間借りしたスペースに2つデスクを並べたところで職員 2 名、文字通り「テーブルフオーツ」からの出発でした。

活動開始して間もない頃は寄付に対してネガティブなイメージを抱かれることもありましたが、従来の支援のように一方的ではない、支援する側とされる側、双方にとって「ウィンウィン」の仕組みが共感を呼び、活動が広がっています。現在の職員は 8 名。全員が民間企業の出身で、各々の経験を活かしながら、フルリモートで日本各地から、食の不均衡解消に取り組んでいます。

### ■「もっと社会貢献を楽しく。」日常生活の中から世界規模の課題を解決。

社員食堂でのヘルシーメニュー提供が寄付につながるプログラムから始まった活動は、現在では外食店や小売、スポーツなど様々なシーンに広がっています。TFT のプログラムは、自分自身も健康になれる、日常生活の中で楽しみながら気軽に参加できる社会貢献活動であり、アイデア次第で応用できることが特長です。企業の従業員や大学生はじめ参加者の発案からも多様な支援の形が生まれてきました。

近年は、企業・団体が主体になって取り組む社員の健康づくりと社会貢献を合わせた活動が広がっています。寄付つきウォーキングイベントや、褒め合ったり感謝の気持ちを伝え合うことが寄付につながる褒め活など、コロナ禍での運動不足やコミュニケーション不足を解消しながら開発途上国の子どもたちへ給食寄付をするプログラムです。

### ■社会貢献活動にマーケティング視点、大きなムーブメントに。



寄付に対する心理的なハードルをより下げ、個人が誰でもどこからでも気軽に参加できる取り組みとして、2015 年からは SNS を活用したソーシャルキャンペーン「おにぎりアクション」を毎年秋に開催しています。国連が定める世界食料デー(10月16日)を記念した企画で、おにぎりにまつわる写真を SNS や専用サイトに投稿すると、1 枚につき給食 5 食分が協賛企業から寄付される仕組みです。2021 年は 1 日

平均 8,500 枚、1 ヶ月間で 27 万枚の写真が集まりました。SNS 上で料理コミュニティに所属する主婦をはじめとする人々から広がり、徐々に大学生やビジネス層にも広がり、老若男女が参加する大きなムーブメントとなっています。マーケティング視点を取り入れ社会事業の規模化を図る取組内容が評価され、2017 年には「アジア・マーケティング 3.0 アワード」を受賞、また毎年強化されている協賛企業とのパートナーシップが評価され、2019 年には「ジャパン SDGs アワード外務大臣賞」を受賞しました。( <https://onigiri-action.com/> )

今後も TFT は、世界共通の大きな課題でありながら、誰にとっても身近で、人々の健康や地球の未来にも直結する食の不均衡の解消に向けて一緒に取り組む仲間を多く募れるよう、「楽しく、持続可能な社会貢献」の仕組みを世界中に広げてまいります。

**一緒に取り組んでくださる仲間を募集しています！**

< 法人の皆さまへ >

### ■「おにぎりアクション 2022」へのご参加■

今年も秋におにぎりアクションの開催を予定しています。NPO・企業・自治体・学校など様々な組織の枠組みを超えた連携で世界規模の社会課題解消と一緒に取り組んでくださる法人様を募集しています。

<https://jp.tablefor2.org/onigiri2022-sponsor/>

### ■TFT プログラムへのご参加■

社員食堂でのヘルシーメニュー提供が寄付につながるプログラムから始まった日本発の社会貢献活動は、現在では外食店や小売、スポーツなど様々なシーンに広がっています。TFT の仕組みはアイデア次第で応用でき、これまでも数多くのユニークな取り組みが生まれています。

<https://jp.tablefor2.org/business/>

一人ひとりが健康づくりをしながら、社会貢献にも参画する取り組みも広がっています。

<https://jp.tablefor2.org/campaign/healthprogram2022/>

<個人の皆さまへ>

### ■FOR TWO(フォーツー)の日に関するご案内■

よりたくさんの方にヘルシーメニューを食べていただきながらアフリカ・アジアの子どもたちに給食を届ける「TABLE FOR TWO(二人のための食卓)」を体験いただきたいという想いを込めて、TFT では4月2日を記念日に制定しています。2022年は、長く続くコロナ下でも、全国どこにいても誰でもご参加いただける「わたしと、あの子のために今すぐできるアクション」を3つ用意しました。

フォーツーの日、週、月に参加できる企画の呼びかけをしています。

<https://jp.tablefor2.org/fortwo2022/>

「April Dream」は、4月1日に企業がやがて叶えたい夢を発信する、PR TIMESによるプロジェクトです。

私たちはこの夢の実現を本気で目指しています。